

令和2年度 第2回 熊取町下水道事業経営委員会

日時：令和2年11月17日（火）

時間：14：00～16：00

場所：熊取町役場北館3階 大会議室

本日の内容

1. 熊取町下水道ビジョン（経営戦略）案について
2. 令和元年度熊取町下水道事業会計決算の概要
3. その他

1. 熊取町下水道ビジョン(経営戦略)案について

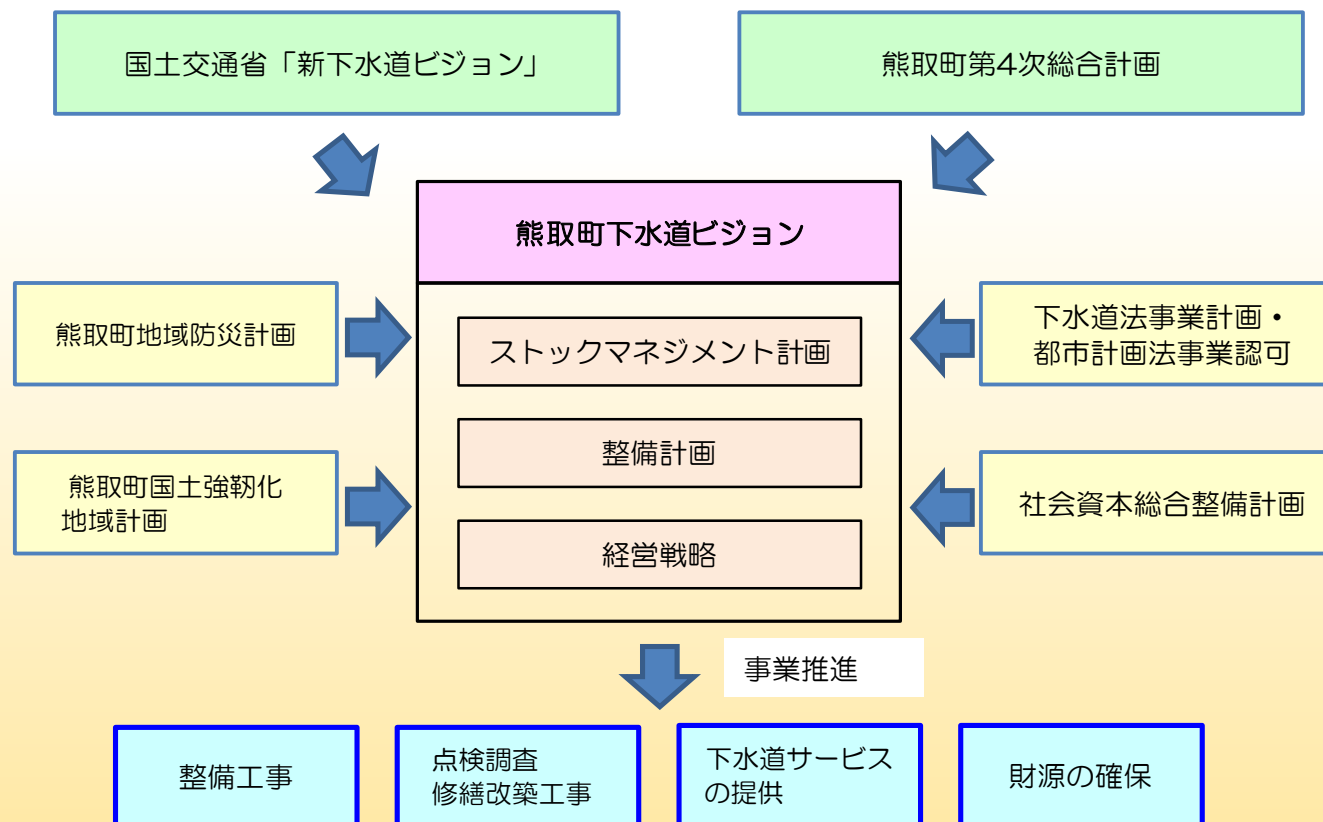
I. 計画総論について ※別添資料 表紙裏面 ~ 55ページ参照

1.はじめに (別添資料 表紙裏面参照)

熊取町下水道ビジョン(経営戦略)の策定にあたり、熊取町長からの挨拶文です。

2.計画の位置づけ及び計画期間(別添資料 2ページ参照)

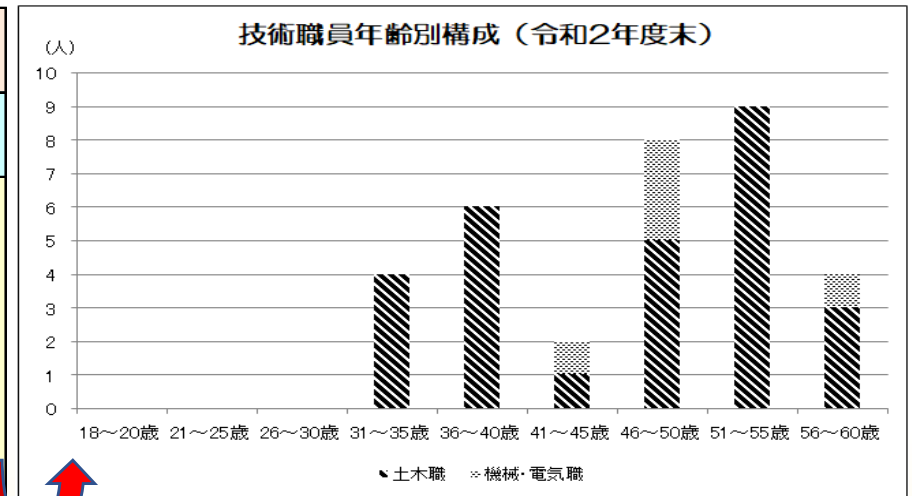
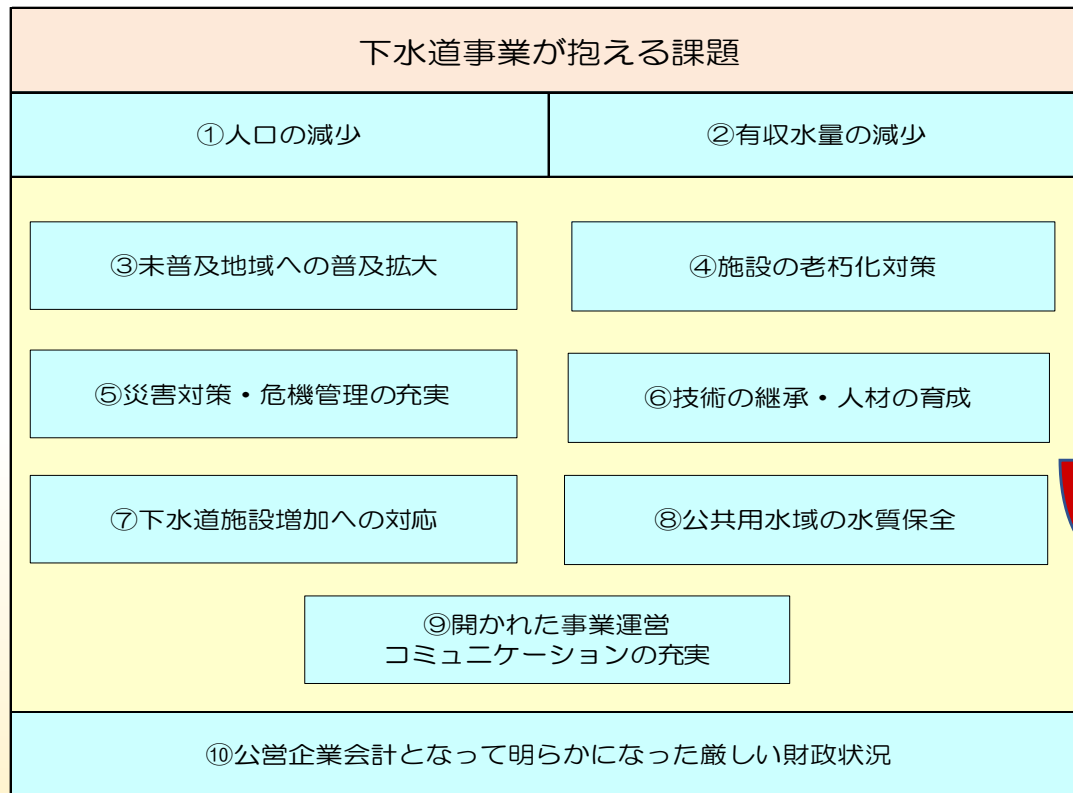
2-1 計画の位置づけ(別添資料 2ページ参照)



2-2 計画期間 (別添資料 2ページ参照)



3. 下水道事業が抱える課題 (別添資料 41ページ・50ページ参照)



Ⅱ. 基本理念と基本方針 ※別添資料 56ページ～61ページ参照

1. 基本的な考え方 (別添資料 56ページ参照)

下水道ビジョン策定の基本的な考え方	
①	人口減少社会への経営の変化を踏まえたビジョンとすること。
②	ナショナルミニマムな施設との認識に立ち、下水道サービスの拡大のための具体的な施策とすること。
③	ライフラインとして下水道施設が今後とも適正な下水道サービスを維持できるように求められる具体的な施策とすること。
④	事業運営の効率化に有効な関連事業者や近隣自治体のほか、民間企業等との連携の可能性を積極的に検討すること。
⑤	施策の実施にあたって、実施時期や検討時期を明確に定め、可能な限り「見える化」を検討すること。

2. 基本理念 (別添資料 56ページ参照)

基本理念 (キャッチフレーズ)
住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちを支える くまとりの下水道

3.基本方針 (別添資料 57ページ参照)

住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちを支える くまとりの下水道		
基本方針		計画名
①	計画的かつ適切な施設管理	ストックマネジメント計画
②	下水道整備の早期実現	整備計画
③	健全で持続可能な経営体制	経営戦略

Ⅲ. スtockマネジメント計画 ※別添資料 62ページ～82ページ参照

1. スケジュール及び年度別事業費 (別添資料 78ページ参照)

1-1 スケジュール (別添資料 78ページ参照)

項目		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
管渠	一般環境下	実施方針		点検調査 TVカメラ: 5,490m 管口カメラ: 5,180m		修繕・改築計画 427m	改築実施設計 427m	改築工事 427m				点検調査	
	腐食環境下	実施方針		点検調査 管口カメラ: 41箇所		修繕・改築計画 40m	改築実施設計 40m	改築工事 40m	点検調査 管口カメラ: 41箇所	修繕・改築計画 40m	改築実施設計 40m	改築工事 40m	
マンホールポンプ施設		実施方針		改築工事 (38箇所)									

1-2 年度別事業費 (別添資料 78ページ参照)

(千円)

項目	対象	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	合計	
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
管渠	一般環境施設	点検調査	8,000	8,000	0	0	0	0	0	0	7,500	7,500	31,000
		修繕改築計画	0	0	9,000	0	0	0	0	0	0	0	9,000
		改築詳細設計	0	0	0	8,000	0	0	0	0	0	0	8,000
		改築工事	0	0	0	0	12,000	12,000	12,000	12,000	0	0	48,000
		緊急対応工事分	3,000	15,000	15,000	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000	78,000
		小計	11,000	23,000	24,000	23,000	15,000	15,000	15,000	15,000	10,500	22,500	174,000
	腐食環境施設	点検調査	※1	※1	0	0	0	900	0	0	0	0	900
		修繕改築計画	0	0	※1	0	0	0	1,000	0	0	0	1,000
		改築詳細設計	0	0	0	※1	0	0	0	1,000	0	0	1,000
		改築工事	0	0	0	0	※1	0	0	0	4,000	0	4,000
		小計	0	0	0	0	0	900	1,000	1,000	4,000	0	6,900
合計(税抜)		11,000	23,000	24,000	23,000	15,000	15,900	16,000	16,000	14,500	22,500	180,900	
マンホールポンプ施設	改築工事	26,600	27,100	27,000	26,700	26,800	26,700	26,900	26,500	26,900	26,700	267,900	
	事業費合計(税抜)	26,600	27,100	27,000	26,700	26,800	26,700	26,900	26,500	26,900	26,700	267,900	
合計(税抜)		37,600	50,100	51,000	49,700	41,800	42,600	42,900	42,500	41,400	49,200	448,800	
合計(税込)		41,360	55,110	56,100	54,670	45,980	46,860	47,190	46,750	45,540	54,120	493,680	

※1 一般環境施設の費用に含む。

なお、改築事業費については点検・調査結果により変動します。

2. 目標達成のための具体的な項目(管渠) (別添資料 80ページ参照)

2-1 主な取り組み内容(別添資料 80ページ参照)

項目	内容
管路施設点検調査の実施(一般環境下)	TVカメラ調査 5,697m 3ブロック(1回目)を実施します。
管路施設点検調査の実施(一般環境下)	管口カメラ 5,180m 9ブロック(1回目)を実施します。
管路施設点検調査の実施(腐食環境下)	管口カメラ 820m 41箇所(1回目)を実施します。
管路施設修繕改築計画の策定	点検調査の結果により必要性に応じ策定します。
修繕改築工事	点検調査の結果により緊急対応が必要な箇所を対象として国補助金の活用を検討します。
国補助金の確保	国補助金を最大限に活用するため、大阪府と協議します。

2-2 成果達成の目標値(別添資料 80ページ参照)

成果指標	目標値
管路施設点検調査の実施(一般環境下)	2回 / 10年間
管路施設点検調査の実施(腐食環境下)	2回 / 10年間
国補助金の確保	100%

3.目標達成のための具体的な項目（マンホールポンプ施設） （別添資料 81ページ～82ページ参照）

3-1 主な取り組み内容（別添資料 81ページ参照）

項目	内容
マンホールポンプ施設の改築更新	標準耐用年数を超過する38箇所について改築更新を実施します。
マンホールポンプ施設の改築更新 周期	標準耐用年数を大きく超過している機器においては、計画期間内で優先順位を決定し、次期改修周期で整合を図ります。
国補助金の確保	国補助金を最大限に活用するため、大阪府と協議します。

3-2 成果達成の目標値（別添資料 82ページ参照）

成果指標	目標値
マンホールポンプ施設の改築更新	38箇所 / 10年間
国補助金の確保	100%

IV. 整備計画 ※別添資料 83ページ～109ページ参照

1.年度別事業費及び整備延長 (別添資料 106ページ参照)

年度	事業費(千円)	整備延長(m)
R3	341,471	1,088
R4	346,053	1,705
R5	530,090	1,069
R6	443,455	1,829
R7	467,172	1,695
R8	478,824	2,071
R9	476,750	2,223
R10	479,432	1,712
R11	469,481	2,140
R12	475,508	2,447
R13	496,536	2,185
R14	472,798	2,464
R15	378,740	1,616
R16	223,601	492
合計	6,079,911	24,736

2.工事整備進捗イメージ (別添資料 107ページ参照)

※別添資料 107ページをご覧ください。

3.目標達成のための具体的な項目（整備の規模）（別添資料 108ページ参照）

3-1 主な取り組み内容（別添資料 108ページ参照）

項目	内容
整備延長	整備必要延長のうち、前期期間（R3～R7：7.4km）、後期期間（R8～R12：10.6km）を施工します。
整備区域	整備計画区域図の記載箇所を施工します。
現事業区域内の整備	令和16年度末に整備完了を目標とします。
事業計画区域の拡大の検討	長期目標（令和13年度～）での取り組みとします。
マンホールポンプ施設整備	37箇所のうち、計画期間内においては、21箇所の整備を実施します。
下水道普及率	令和12年度末の下水道普及率89.9%を目標とします。
整備規模	人員体制、収支バランスを図った適正な整備規模で実施します。
国補助金の確保	国補助金を最大限に活用するため、大阪府や関係機関と協議していきます。

3-2 成果達成の目標値（別添資料 108ページ参照）

成果指標	目標値
整備延長	18.0km
下水道普及率	89.9%
マンホールポンプ施設整備	21箇所

4.目標達成のための具体的な項目（指定避難所への整備） （別添資料 109ページ参照）

4-1 主な取り組み内容（別添資料 109ページ参照）

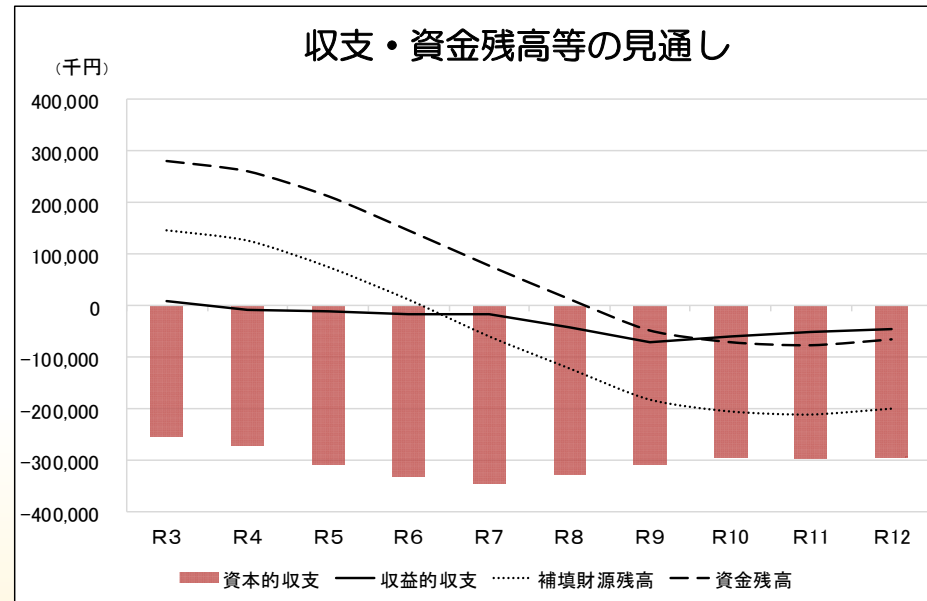
項目	内容
指定避難所への整備	東小学校、南小学校及び熊取南中学校への整備を完了します。

4-2 成果達成の目標値（別添資料 109ページ参照）

成果指標	目標値
指定避難所の下水道整備	100%

V. 経営戦略 ※別添資料 110ページ～131ページ参照

1. 収支・資金残高等の見通し (別添資料 125ページ参照)



年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
収益的収入	1,057,748	1,051,647	1,060,803	1,071,148	1,076,307	1,062,323	1,050,076	1,074,071	1,080,226	1,089,734
収益的支出	1,048,372	1,060,368	1,071,890	1,087,698	1,093,935	1,105,933	1,120,053	1,134,686	1,131,550	1,135,877
資本的収入	681,687	661,620	780,177	649,268	630,697	641,005	625,334	614,429	593,096	587,934
資本的支出	936,755	934,220	1,087,587	979,777	977,127	968,752	934,191	908,326	888,935	882,673
収益的収支	9,376	-8,721	-11,087	-16,550	-17,628	-43,610	-69,977	-60,615	-51,324	-46,143
資本的収支	-255,068	-272,600	-307,410	-330,509	-346,430	-327,747	-308,857	-293,897	-295,839	-294,739
単年度収支	-245,692	-281,321	-318,497	-347,059	-364,058	-371,357	-378,834	-354,512	-347,163	-340,882
補填財源残高	145,271	125,110	76,226	11,807	-58,048	-122,927	-182,575	-205,503	-210,934	-200,316
資金残高	280,243	260,082	211,197	146,778	76,924	12,045	-47,603	-70,531	-75,962	-65,344

2. 目標達成のための具体的な項目（下水道使用料）（別添資料 129ページ参照）

2-1 主な取り組み内容（別添資料 129ページ参照）

項目	内容
下水道使用料の見直し	3年に1度見直しを実施します。
新たな下水道使用料算定基準の導入検討	新たな下水道使用料算定基準の導入を検討します。

2-2 成果達成の目標値（別添資料 129ページ参照）

成果指標	目標値
下水道使用料の見直し	1回 / 3年

3.目標達成のための具体的な項目（財源に関する項目）別添資料 130ページ参照）

3-1 主な取り組み内容（別添資料 130ページ参照）

項目	内容
資金残高の確保	一時借入金を解消するとともに、不測の事態にも備えながら事業運営に見合った資金残高を確保します。
当期純利益の確保	当期純利益を決算にて確保します。
補填財源残高の確保	補填財源残高を確保します。
減債積立金への組入	投資的事業費の確保のため、未処分利益剰余金の使用目的を明確にします。
起債未償還残高の基準	将来の使用者の負担増や公平性の確保から未償還残高の上限を設定します。
国補助金の確保	国補助金が最大限活用できることを検討し、国、大阪府や関係機関と協議していきます。

3-2 成果達成の目標値（別添資料 130ページ参照）

成果指標	目標値
資金残高の確保（計画短期内）	3億円
資金残高の確保（長期）	下水道使用料の12か月分相当額
補填財源残高の確保	毎年度
当期純利益の確保	毎年度
減債積立金への組入	毎年度
起債未償還借入残高の基準	55億円以内
国補助金の確保	予算額の100%

4.目標達成のための具体的な項目（その他検討を必要とする項目） （別添資料 131ページ参照）

4-1 主な取り組み内容（別添資料 131ページ参照）

項目	内容
経費回収率	100%を目標とします。
水洗化率の維持	速やかな水洗化工事が図られるよう、助成金制度を含めたPRを実施し、水洗化率94%を維持します。
基準内繰入金算定方法見直し	国基準に基づき算定方法を見直します。
基準外繰入金	基準外繰入金を抑制します。
雨水施設維持管理費の財源確保	安心・安全な雨水施設維持のための財源を関係部署と協議し確保します。
流域下水道維持管理費の確保	大阪府流域下水道事業との連携強化と、新たな経費負担を実施します。

4-2 成果達成の目標値（別添資料 131ページ参照）

成果指標	目標値
経費回収率	100%
水洗化率	94%以上
基準外繰入金	47,000千円以内

VI. 下水道事業として共通する施策 ※別添資料 132ページ～135ページ参照

1. 災害対策・危機管理体制の強化 (別添資料 132ページ参照)

1-1 主な取り組み内容 (別添資料 132ページ参照)

項目	内容
下水道BCPの見直し	年に一度見直しが必要かの確認を行い、見直しが必要な場合は速やかに実施します。
災害協定締結事業者の拡充	応急復旧作業に有効な民間事業者との災害協定を締結します。
災害訓練の実施	災害協定事業者と合同で災害訓練を実施します。

1-2 成果達成の目標値 (別添資料 132ページ参照)

成果指標	目標値
下水道BCPの見直し	1回以上 / 年

2. 情報管理の適正化 (別添資料 133ページ参照)

主な取り組み内容 (別添資料 133ページ参照)

項目	内容
下水道業務支援システムの導入	データの一元管理、紙媒体のデジタル化、マンホールポンプ施設運転監視を導入します。
重要情報の分散保管	下水道業務支援システムの導入にあわせ分散保管を実施します。

3. 人材の確保と技術の継承 (別添資料 133ページ参照)

主な取り組み内容 (別添資料 133ページ参照)

項目	内容
公営企業会計の知識の習得や向上	研修会への参加とアドバイザー業務をより一層活用します。
人材の確保	整備と維持管理規模に応じた職員の確保をします。 令和3年度総係費1名 令和5年度建設改良費1名 増員
技術の継承	関係部署と協議を継続します。

4. コミュニケーションの充実 (別添資料 134ページ参照)

4-1 主な取り組み内容 (別添資料 134ページ参照)

項目	内容
広報くまのりの活用	伝えるべき情報をわかりやすく発信します。
ホームページの活用	ホームページの利点を最大限に活用した内容と検索のしやすさを考慮し作成します。
マンホールカードの配布	配布を継続し、下水道に関心を持っていただくよう努めます。
下水道事業経営委員会	事業全体の意見交換や討論を実施します。

4-2 成果達成の目標値 (別添資料 134ページ参照)

成果指標	目標値
下水道事業経営委員会	2回以上 / 年

5. 広域化、連携化による経営改善

(別添資料 134ページ ~ 135ページ参照)

主な取り組み内容 (別添資料 135ページ参照)

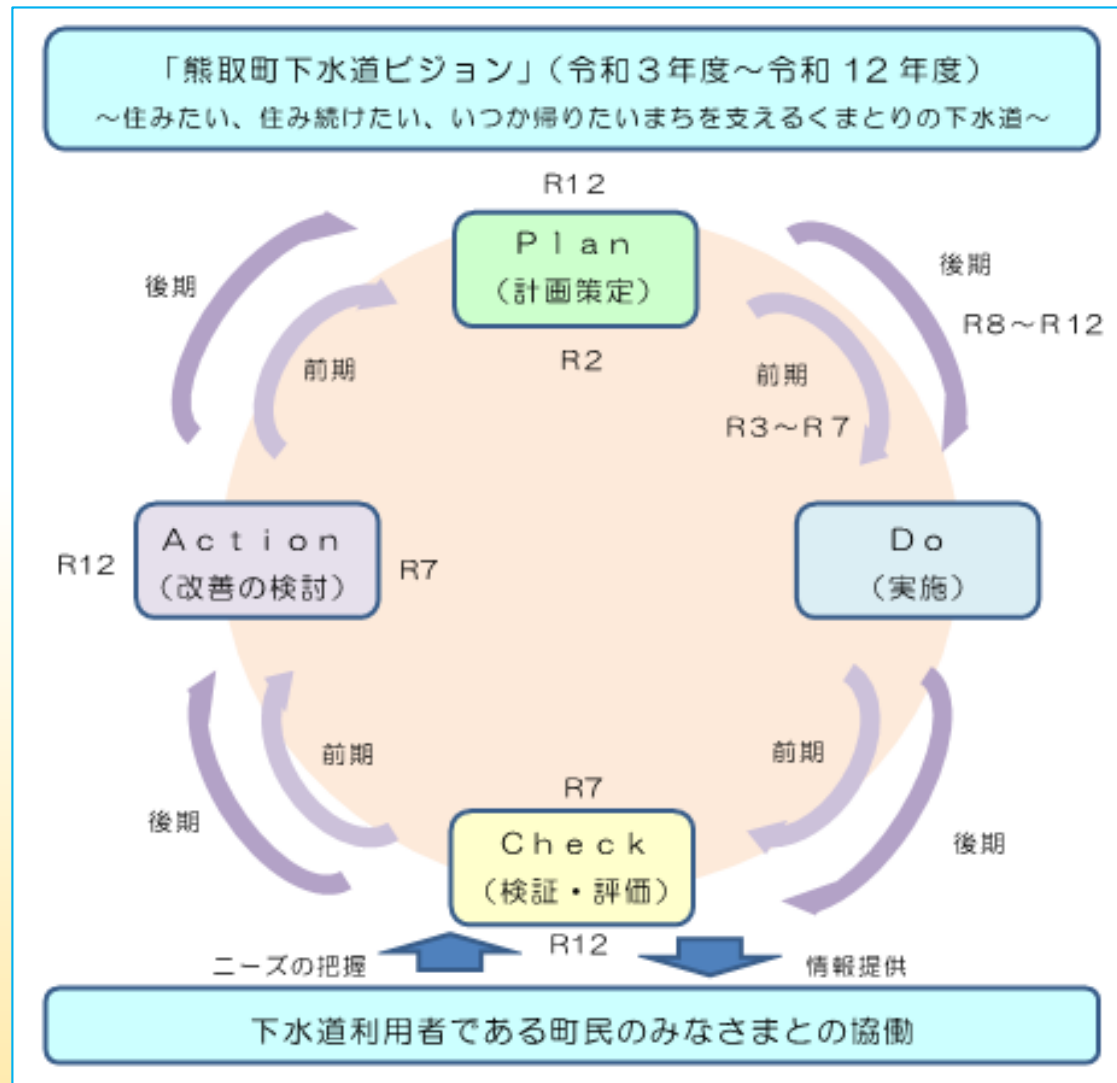
項目	内容
業務委託の拡大等の調査研究	民間委託が可能で、効率的な業務範囲を検討します。
大阪府流域下水道事業との連携	広域連携などの検討会等に参加し、連携について研究します。
大阪広域水道企業団との連携	使用料徴収委託業務の継続と更なる業務委託を協議します。

6. 関連する計画の策定準備 (別添資料 135ページ参照)

主な取り組み内容 (別添資料 135ページ参照)

項目	内容
関連する計画の策定準備	内水ハザードマップ策定が必要であるかの検討準備を進めます。

Ⅶ. 計画の推進 ※別添資料 139ページ参照



Ⅷ. 今後のスケジュール

令和2年

11月17日(火)

令和2年度第2回下水道事業経営委員会
・下水道ビジョン(案)報告

12月11日(金)

議員全員協議会・下水道ビジョン(案)報告

12月中旬

パブリックコメント開始・下水道ビジョン(案)

令和3年

2月中旬

令和2年度第3回下水道事業経営委員会

3月中旬

議員全員協議会・下水道ビジョン報告

3月下旬

公開・下水道ビジョン

2. 令和元年度熊取町下水道事業会計決算の概要

1. 令和元年度熊取町下水道事業会計決算の概要

(1) 令和元年度決算額の概要

収益的収支

単位：円（税抜）

歳入	歳出
1,081,847,359	1,040,646,649

※当年度純利益は、収益的収支の差引額で算定（損益計算書参照）

$$1,081,847,359 - 1,040,646,649 = \underline{41,200,710}$$

当年度純利益

資本的収支

単位：円（税込）

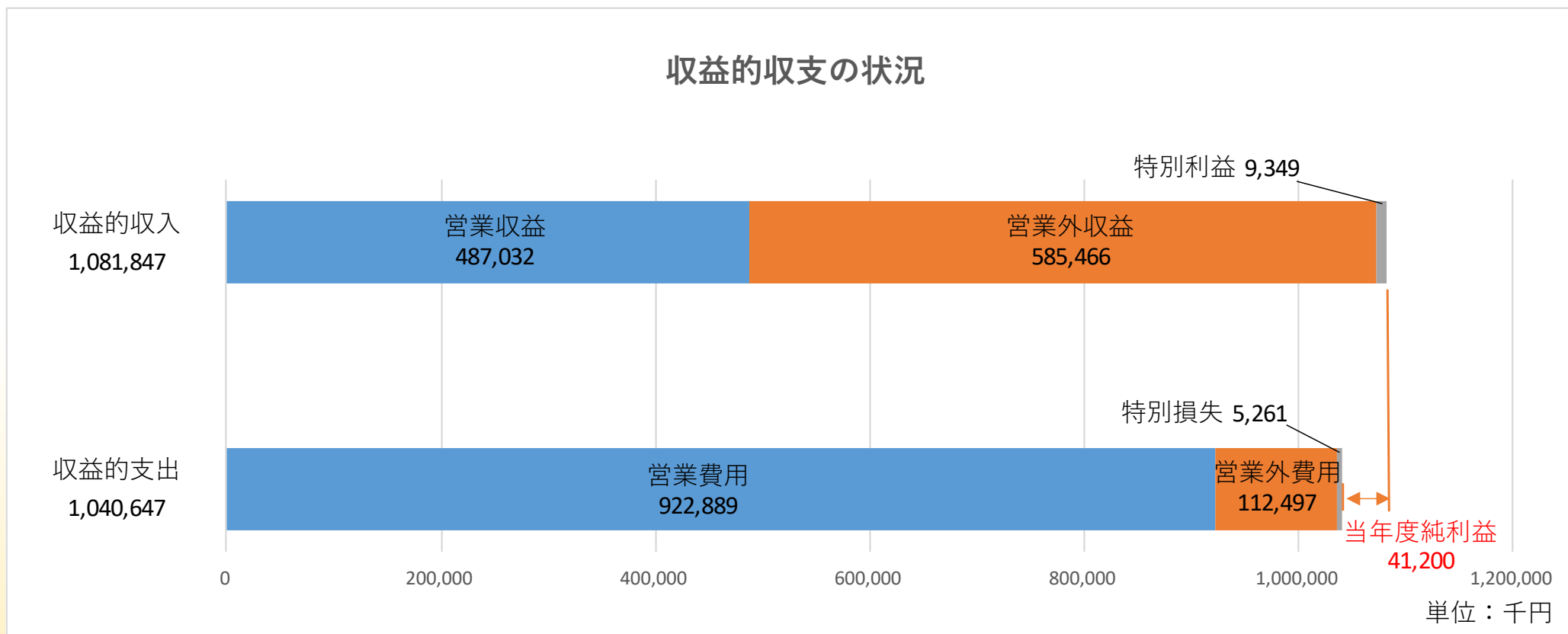
歳入	歳出
624,716,651	883,371,282

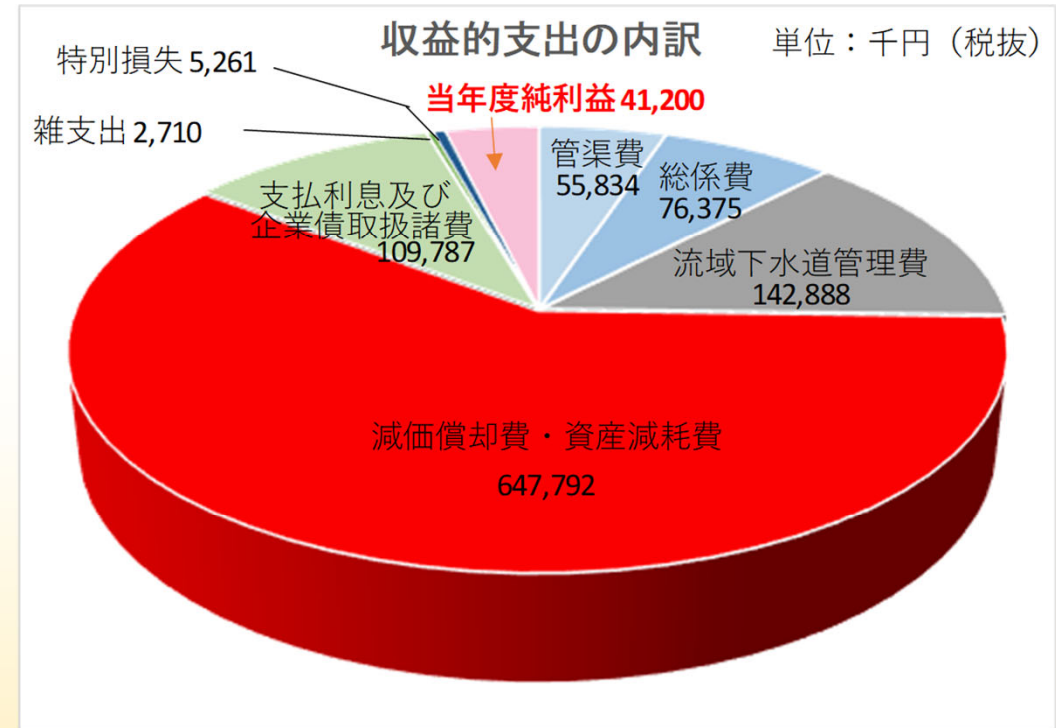
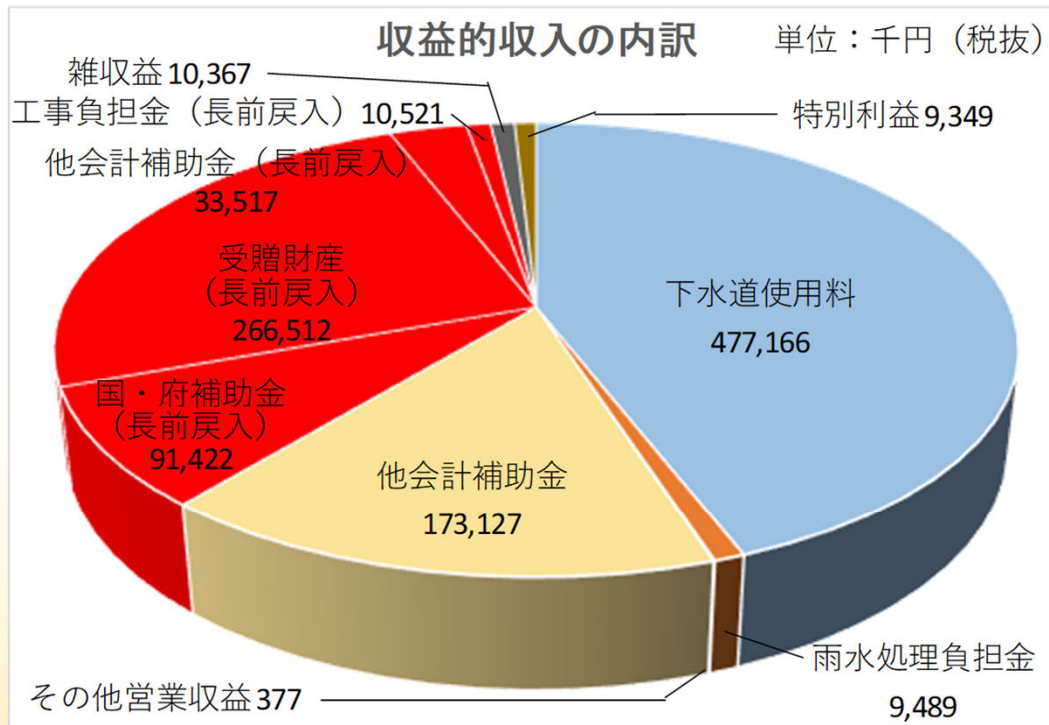
※資本的収支（税込額）

$$624,716,651 - 883,371,282 = \underline{\Delta 258,654,631}$$

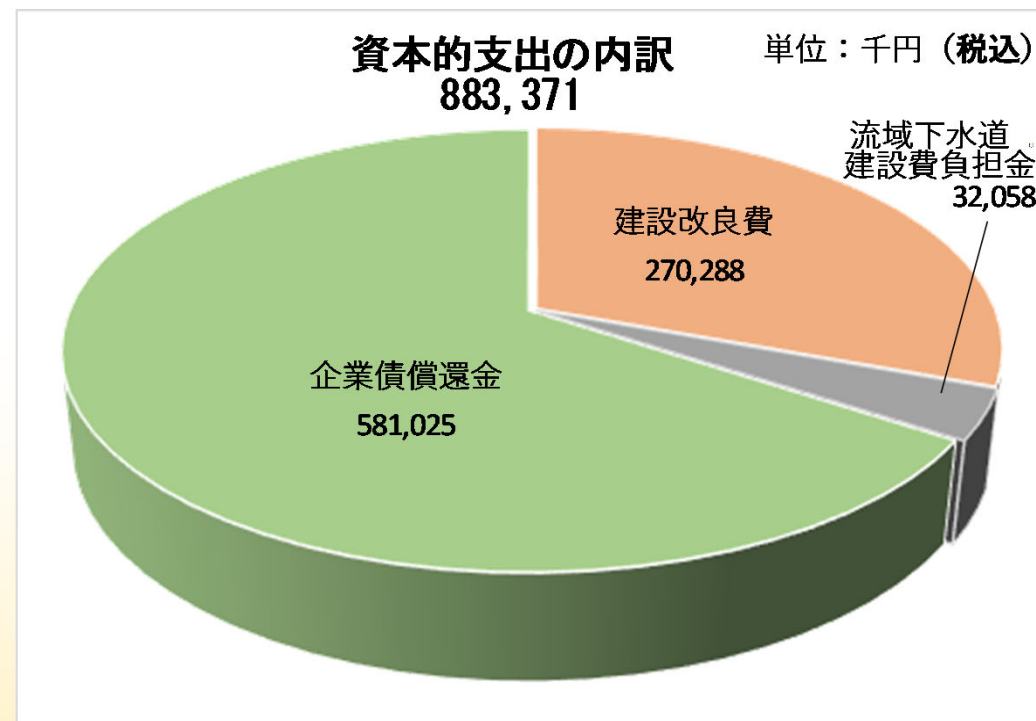
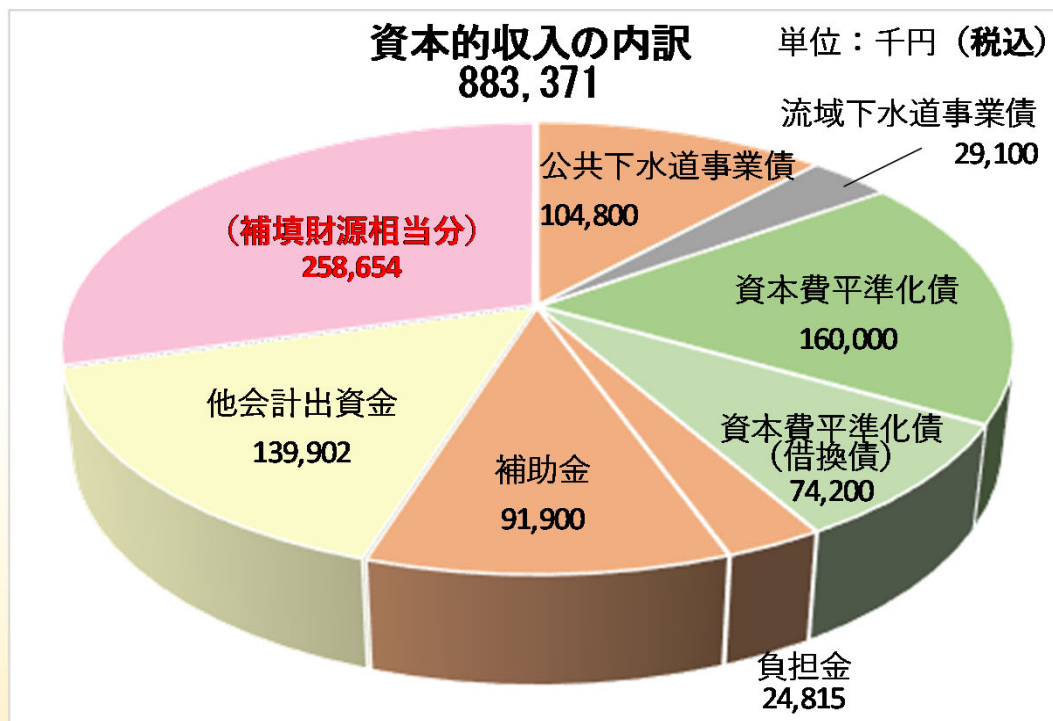
資本的収支不足額

(2) 令和元年度収 益的収支について





(3) 令和元年度 資本的収支の内訳



(4) 令和元年度の成果（業務量）について

事 項	単位	本 年 度	前 年 度	比 較		備 考		
				増 減	対前年度比			
行政区域内人口	人	43,589	43,685	△ 96	△ 0.2 %			
整備済区域内人口	人	35,569	35,450	119	0.3 %			
普及率	%	81.6	81.1	0.5	0.6 %			
水洗化人口	人	33,673	33,357	316	0.9 %			
水洗化率	%	94.7	94.1	0.6	0.6 %			
整備済区域内世帯	世帯	14,867	14,655	212	1.4 %			
水洗化世帯	世帯	13,934	13,648	286	2.1 %			
有収水量	年 間	m ³	3,407,761	3,405,388	2,373	0.1 %		
	一 ヶ 月 平 均	m ³	283,980	283,782	198	0.1 %		
	一 日 平 均	m ³	9,311	9,330	△ 19	△ 0.2 %		
年間布設延長	汚水管	町 施 工	m	829.90	1,150.60	△ 320.70	△ 27.9 %	
		民 間 開 発	m	1,192.40	586.68	605.72	103.2 %	
	雨水管	町 施 工	m	0.00	0.00	0.00	—	
		民 間 開 発	m	61.90	0.00	61.90	皆減	

【使用料単価】 ※1m³あたりの単価

$$\frac{\text{下水道使用料(円)} \quad 477,166,508}{\text{年間有収水量(m}^3\text{)} \quad 3,407,761} = \underline{\underline{140円02銭}}$$

【汚水処理原価】 ※1m³あたりの単価

$$\frac{\text{総費用(円)} - \text{公費負担分(円)} - \text{長期前受金(円)}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}} = \underline{\underline{133円83銭}}$$

(5) 未処分利益剰余金の処分について

○未処分利益剰余金の状況

当年度純利益 41,200,710 円 ①

前年度未処分利益剰余金 34,977,044 円 ②

⇒損益計算書では、前年度繰越利益剰余金として
計上しています。

当年度未処分利益剰余金 76,177,754 円 ① + ②

※下水道事業では、未処分利益剰余金を減債積立金へ積み立て、起債償還の財源として活用します。

(5) 未処分利益剰余金の処分について

○未処分利益剰余金処分の議決

令和元年度 熊取町下水道事業会計剰余金処分計算書

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	1,440,107,754	60,116,360	76,177,754
議会の議決による処分類			△ 76,177,754
減債積立金の積立て			△ 76,177,754
資本金への組入れ			
処分後残高	1,440,107,754	60,116,360	(繰越利益剰余金) 0

※本件については、令和2年9月議会に議案として上程し、9月9日に原案の
とおり可決されました。

3. その他
